

報道関係者各位

平成23年6月16日

広島県コンクリート診断士会

設立発起人代表

米倉亜州夫（広島大学名誉教授）

## 広島県コンクリート診断士会設立のご案内

～ 来る7月22日に設立総会開催 ～

広島県にコンクリート診断士会ができる。

コンクリート診断士(以下「診断士」とは、近年高齢化で問題となっているコンクリート構造物の延命化を図る技術者資格で、いわば構造物の医者にあたる。地震被害を受けたコンクリート構造物を補修・再利用するか、更新するかという診断も行う。人間の医者と異なるのは、X線検査、診断、薬剤治療まで、内科、外科を問わず、すべて一人でこなすということである。

そのため、診断士は資格を取得しただけですぐ全面的な活動をするのは困難であり、しばらくは仮免許状態の診断士も多い状況と分析する。広島県コンクリート診断士会は、この人たちが早期に活躍できるよう組織だった支援を行うための組織である。

コンクリート診断士資格試験は2001年から実施され、過去10年間の試験の合格率は15%内外とハードルは高い。現在全国でコンクリート診断士は約8300人、広島県内では約300人が登録活動している。

コンクリート診断士会は、現在全国の都道府県で14団体あり、中国地区では島根県と鳥取県にある。また、昨年10月に、これら全国の地区診断士会を束ねる本部「一般社団法人 日本コンクリート診断士会」も発足している。広島県コンクリート診断士会は当面は任意団体として活動して行くが、将来的には本部同様、一般社団法人化も視野に入れている。

広島県コンクリート診断士会は、現在、設立総会を前に会員、賛助会員の加入を呼び掛けている。設立総会は来る7月22日(金)午後に 広島工業大学広島校舎で開催する。

当日は、総会に引き続き、十河茂幸 広島工業大学教授の記念講演も予定されている。

総会の参加は無料で、関心をもった人は誰でもオブザーバーとして出席できる

正会員登録は、コンクリート診断士試験の合格・診断士資格登録者に限定されるが、賛助会員は会の趣旨に賛同するという条件で加入できる。

会員・賛助会員希望者は広島県コンクリート診断士会のHPにアクセスして登録する形となる。

また、設立総会会場でも加入登録できる。

会員になるとベテラン診断士からのアドバイスや、各種技術資料の提供が受けられる。賛助会員は会の企画に参加でき、技術資料の提供を受けられるなどの特典がある。

「広島県コンクリート診断士会」URL <http://h-cd.jp/>

連絡先:「広島県コンクリート診断士会」設立準備会

広島市中区南竹屋町5-12-301

事務局 電話(FAX) 082-541-0155

担当 徳納 武使 (福德技研㈱)